

平成28年度 予算をお知らせします

予算と事業の概要

平成28年度は、第5次鶴ヶ島市総合計画（後期基本計画）の初年度に当たり、総合計画に掲げる市の将来像の実現に向け、各施策の取組を着実に推進していくためのスタートとなる大変重要な年度です。

平成28年度は、将来を見据えた先行投資として、農業大学校跡地の活用やその周辺地域を活用した魅力ある地域づくりを推進します。また、進行する高齢化への対策として、地域包括ケアシステムの構築を進めるとともに、教育の充実に取り組みます。

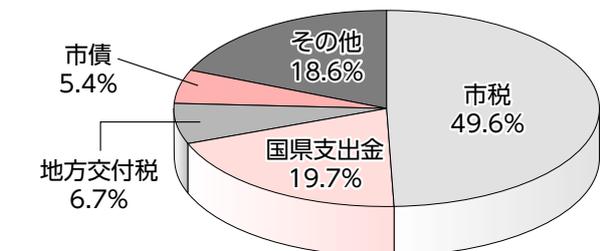
一般会計の総額は194億6500万円、前年度と比較して3172万円の増額、率にして0.2%の増となりました。

問合せ先 財政課財政担当

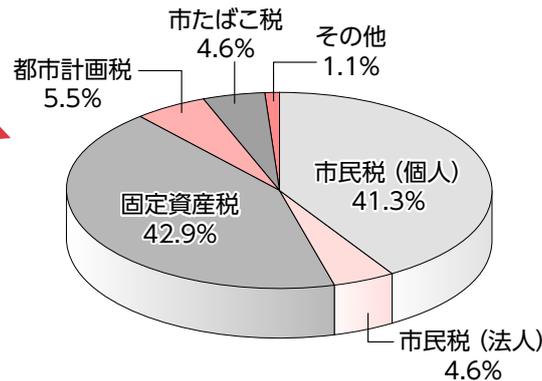
一般会計

※住民数：7万145人（平成28年1月1日現在）

歳入



《市税の内訳》



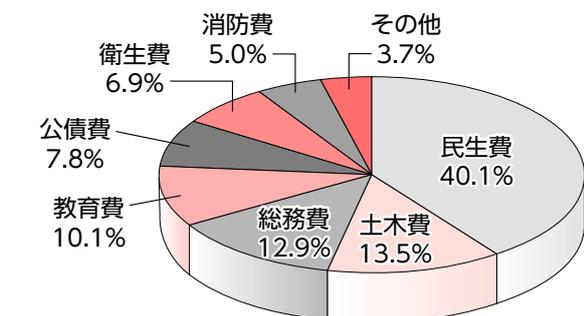
項目	予算額	構成比	住民一人あたりの歳入額
市税	96億5917万円	49.6%	137703円
国県支出金	38億3484万円	19.7%	54670円
地方交付税	13億円	6.7%	18533円
市債	10億5782万円	5.4%	15081円
■その他の内訳			
地方消費税交付金	10億800万円	5.2%	14370円
繰入金	7億5779万円	3.9%	10803円
諸収入	4億5963万円	2.4%	6553円
繰越金	4億円	2.1%	5702円
分担金及び負担金	2億6254万円	1.3%	3743円
寄附金	2億30万円	1.0%	2856円
地方譲与税	1億5300万円	0.8%	2181円
使用料及び手数料	1億921万円	0.6%	1557円
配当割交付金	6000万円	0.3%	855円
財産収入	5570万円	0.3%	794円
株式等譲渡所得交付金	4500万円	0.2%	642円
自動車取得税交付金	4200万円	0.2%	599円
地方特例交付金	4000万円	0.2%	570円
交通安全対策特別交付金	1100万円	0.1%	157円
利子割交付金	900万円	0.0%	128円
計	194億6500万円	100.0%	277497円

項目	予算額	構成比	住民一人あたりの歳入額
市民税（個人）	39億8360万円	41.3%	56791円
市民税（法人）	4億4514万円	4.6%	6346円
固定資産税	41億4768万円	42.9%	59130円
都市計画税	5億2943万円	5.5%	7548円
市たばこ税	4億4824万円	4.6%	6390円
その他（軽自動車税など）	1億508万円	1.1%	1498円
計	96億5917万円	100.0%	137703円

※国有資産等所在市町村交付金については、固定資産税に含む。
 ※都市計画税は、都市計画法に基づいて実施する都市計画事業の財源として課税する目的税であり、その税収については一本松土地区画整理事業特別会計繰入金、若葉駅西口土地区画整理事業特別会計繰入金、坂戸、鶴ヶ島下水道組合負担金に充当しています。

※消費税率の引上げ分に係る地方消費税収については介護保険特別会計繰入金、国民健康保険特別会計繰入金、公立保育所運営事業、民間保育所運営支援事業、認定こども園等運営支援事業に充当しています。

歳出



項目	予算額	構成比	住民一人あたりの歳出額
民生費	77億9735万円	40.1%	111160円
土木費	26億3197万円	13.5%	37522円
総務費	25億782万円	12.9%	35752円
教育費	19億5894万円	10.1%	27927円
公債費	15億1157万円	7.8%	21549円
衛生費	13億4234万円	6.9%	19137円
消防費	9億7295万円	5.0%	13871円
■その他の内訳			
商工費	3億7903万円	1.9%	5404円
議会費	2億360万円	1.0%	2903円
農林水産業費	1億1311万円	0.6%	1612円
労働費	2413万円	0.1%	344円
予備費	2000万円	0.1%	285円
諸支出金	219万円	0.0%	31円
計	194億6500万円	100.0%	277497円

特別会計

国民健康保険	87億3324万円(3541万円増)	0.4%増
後期高齢者医療	5億9087万円(6115万円増)	11.5%増
介護保険	37億5530万円(4億5770万円増)	13.9%増
一本松土地区画整理事業	3億8385万円(6347万円増)	19.8%増
若葉駅西口土地区画整理事業	3億4614万円(3183万円増)	10.1%増

<財政用語解説>

歳入	
市税	市民税、固定資産税などの税収入
国県支出金	特定の事業のために国・県から支出されるお金
地方交付税	市の財政状況に応じて国から交付されるお金
市債	大きな事業などを行うために市が借り入れるお金
歳出(目的別)	
民生費	子ども、高齢者、障害者などの福祉全般の事務・事業に使うお金
土木費	道路、公園整備などに使うお金
総務費	住民窓口、課税徴収、IT化など市の総括的な事務に使うお金
教育費	学校運営の費用、生涯学習、スポーツなど教育全般の事務・事業に使うお金
公債費	市債を返済するために使うお金
衛生費	保健衛生、公害対策など安全で衛生的な生活のために使うお金
消防費	消防や災害対策に使うお金

平成27年度補正予算に組みかえて前倒して執行する主要事業

「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者などを支援するため、国の補正予算と連動し、平成28年度に実施する事業を平成27年度補正予算に組みかえて執行します。

【年金生活者等支援臨時福祉給付金に関する経費(繰越事業)】

●年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事務費 364万円

●年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業 1億4250万円

平成27年度市民税(均等割)非課税者(住民税課税者の扶養親族などは除く。)で、平成28年度中に65歳以上となる方に対し、給付金として、1人につき3万円を支給します。

監査委員は市の財務会計事務などの執行内容をチェックします 問合せ先 監査委員事務局

監査制度の目的は、市の財務会計事務や事務事業の執行が、公正で合理的かつ能率的に実施されているかを監査することにより、市の適正な行財政運営を確保して市民福祉の増進に努めることにあります。

監査委員は、地方自治法の規定に基づく必置機関で、その法定数は原則2人と定められています。

監査の種類は、実施計画を定めて行う監査と市民の請求、議会や市長の要求などにより行う監査があり、平成28年度の監査実施計画に基づく監査は、次のとおりです。

※監査結果は、随時、市ホームページへ掲載します。

種類	事務の内容	予定
例月出納検査	会計管理者の行う出納事務が適正に行われているか検査を実施します。	毎月
定例監査	各課の財務会計事務を中心として、その執行が適正に行われているかを監査します。	9~2月
工事監査	定例監査の一環として請負契約の金額が原則1000万円以上となる工事の中から監査を実施します。	随時
補助団体などに対する監査	市が財政的援助を行っている団体または市の施設の管理運営を委託している指定管理者に対し、補助金や委託金が適正に使用されているかなどを監査します。	6・11月
決算審査	一般会計および特別会計(国民健康保険特別会計など)の歳入歳出決算について審査します。	6・7月
基金運用状況審査	決算審査に併せ、定額の資金を運用する基金について、その運用状況を審査します。	6・7月
財政健全化審査	「財政健全化法」に基づく健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率および将来負担比率)およびその資料が適正に算定されているかを審査します。	8月

平成28年4月1日から市の組織が変わります 問合せ先 秘書政策課政策担当

◆資産管理課を設置します(総合政策部)

公共施設の老朽化などの課題に対応していくため、「資産管理課」を設置します。

◆収納課を設置します(総務部)

市税だけでなく、市全体の債権管理体制の連携強化を図るため、「収税対策課」を「収納課」に改めます。

◆都市施設保全課を設置します(都市整備部)

「都市施設保全課」を設置して、公園、緑地、道路の維持補修や、防犯灯、道路照明灯、交通安全施設の管理や整備などを行います。

◆生涯学習スポーツ課を設置します(教育部)

「生涯学習課」を「生涯学習スポーツ課」に改めます。生涯学習や文化活動、スポーツなどによって、生涯を通じて学び、健康に暮らせるまちづくりを推進していきます。

◆事務の窓口が変わります。

- ①「建築課」で担当していた住宅行政、建築指導、開発に関する事務を「都市計画課」で担当します。
- ②「安心安全推進課」で担当していた空き家に関する事務を「都市計画課」で担当します。

事業をお知らせします

3 快適に暮らせるまち (環境・都市整備)

身近な自然環境が確保され、公園、道路、排水などの生活環境が整備された、市民誰もが快適に暮らせるまちを目指します。

●(新)橋りょう・道路維持管理事業

老朽化と経年劣化に伴い、損傷を来している橋りょうなどを計画的に修繕し、交通の安全と通行の円滑化を図ります。 **6232万円**

●一本松地区地区計画住環境整備事業

一本松地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、道路整備を実施します。 **1億9243万円**

●都市計画道路整備事業

埼玉県による埼玉県農業大学校跡地の活用と連動した周辺道路の整備により、跡地活用の促進および円滑な道路網の確保を図ります。 **2億2380万円**

●市内公共交通運行事業



市民の移動手段の確保と拠点性の高い公共施設への利便性向上を図るため、つるバス・つるワゴンを運行する民間事業者に対し、必要な経費を補償します。 **6677万円**

●(新)近隣公園施設修繕事業

市民の快適な公園利用に資するため、近隣公園の老朽化が進んでいる公園施設を修繕します。 **329万円**

4 人を育むまち (子育て・教育・生涯学習)

安心して子育てができるとともに、子どもから大人まで、市民誰もが生涯にわたって成長していく環境が整った、地域みんなで人を育むまちを目指します。



●ひとり親家庭等医療費助成事業

ひとり親家庭などに対し、医療費助成金を支給することにより、生活の安定と自立を支援し、ひとり親家庭等の福祉の増進を図ります。 **1914万円**

●放課後児童対策事業

学童保育室を運営する事業者に対して補助などを行うことにより、放課後における児童の健全な育成と子育て環境の充実を図ります。 **1億2285万円**

●民間保育所運営支援事業

民間保育園に対して、公定価格(国が定める基準)による給付を実施するとともに、運営改善と振興を図るための補助を行うことにより、子育て環境の充実を図ります。 **8億8494万円**

●認定こども園等運営支援事業

認定こども園等に対して、公定価格(国が定める基準)による給付を実施するとともに、運営改善と振興を図るための補助を行うことにより、子育て環境の充実を図ります。 **1億1445万円**

●小学校国際性を育む教育推進事業

●中学校国際性を育む教育推進事業

英語の標準的な発音に慣れ、外国の生活について興味関心を高めるため、外国語指導助手を小・中学校に派遣します。また、小中連携による一貫した外国語教育を推進するため、中学校に市費による英語教員を配置し、小学校へ派遣します。

(小学校) **401万円**、(中学校) **2496万円**

●(新)笑顔あふれる活動応援事業

小学生が学校や地域で活躍するため、必要な物品などを購入します。 **382万円**

●(新)がんばる部活動応援事業

中学校の部活動を応援するため、必要な物品などを購入します。 **540万円**

●(新)脚折雨乞支援事業

国選択無形民俗文化財、市指定無形文化財「脚折雨乞」の魅力のPRおよび後世への継承支援を行います。 **230万円**

5 将来を見すえた市政運営 (推進体制)

少子高齢化をはじめとする社会情勢の変化を見すえ、市民が「市役所は変わった」と思える、これからの時代に対応した新しい市政運営を目指します。

●(新※)シティプロモーション推進事業

様々なメディアを活用して、鶴ヶ島市の人や自然、文化などの魅力を国内外へ発信します。 **195万円**

●公共施設予約運営事業

運用開始から6年が経過した公共施設予約システムを更新し、利用者の利便性と事務効率の向上を図ります。 **1819万円**

第5次鶴ヶ島市総合計画の5つの政策分野ごとに平成28年度の主要事業をお知らせします。

(新)は新規事業です。

(新※)は平成26・27年度補正予算において新規事業として計上した事業です。

1 健やかで安心できるまち (健康・福祉・安心安全)

急速に高齢化が進む地域の実情を見すえ、市民誰もが住み慣れた地域で暮らせる、健やかで安心できるまちを目指します。



●**障害者在宅福祉推進事業**

重度心身障害者の経済的負担を軽減するため、医療機関を受診した際、医療費一部負担金を助成します。

2億1205万円

●**障害者施設等支援事業**

「きいちご」を障害者総合支援法に基づく障害者生活介護施設に移行することにより、質の高い障害福祉サービスを提供し、在宅の常時介護を要する障害者の日常生活の充実および社会参加の促進を図ります。

3023万円

●**地域でスクラム健康運動事業**

タニタ健康プログラムを活用した健康づくり運動の継続、筋力向上運動講座の開催、健康遊具を活用した運動指導などを実施します。

412万円

●(新※)つるがしま健康マイレージ運営事業

健康づくり関連事業の参加に応じてポイントを貯め、クーポン券を贈呈することで、市民の健康意識を高め健康づくりの習慣化を促します。

66万円

●(新※)防犯灯LED化推進事業

市内すべての防犯灯をLED灯に交換する導入事業を実施することにより、省エネルギーの推進と温室効果ガスの排出量の抑制を図るとともに、防犯環境の整備に努めます。

394万円

2 活力に満ちたまち (コミュニティ・市民協働・産業)

人々が集い、交流し、働き、遊び、住まう、賑わいと活力に満ちたまちを目指します。

●**地域支え合い推進事業**

地域の住民が、NPO法人などの市民活動団体、企業などとの連携により、日常の暮らしの中で共に支え合い、助け合いながら、地域の課題を地域で解決できる仕組みづくりを支援します。

1220万円

●(新※)女性活躍応援事業

出産などを機に離職した女性の再就職面接会や、起業する女性の情報交換・交流会などを開催し、女性の経済的自立およびネットワークづくりを支援します。

22万円

●(新※)市民センター地域活動支援事業

地域づくりの担い手の発掘・育成に向けた取組や、市民・市民活動団体などの活動を支援し、連携・協働による地域づくりを推進します。

72万円

●**企業立地雇用等促進奨励事業**

市内で一定規模以上の事業所の新設を行う企業およびその従業員に対して奨励措置を講じ、企業の進出を促すとともに、市民の雇用機会の拡大や定住の促進を図ります。

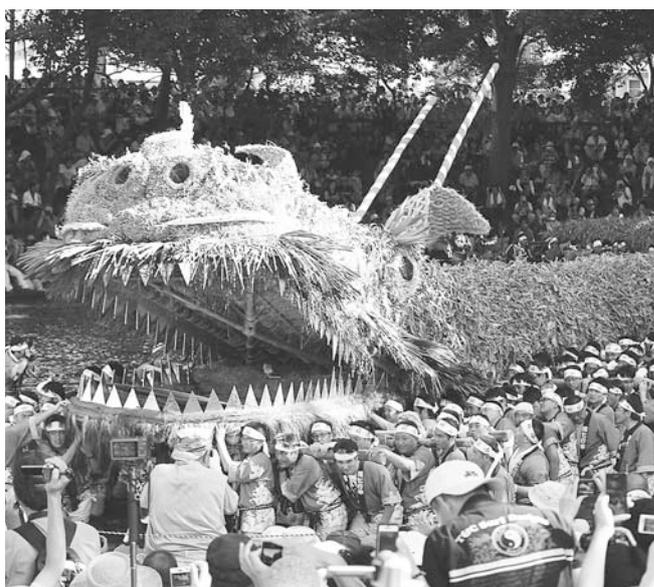
1930万円

●(新)起業・創業支援事業

鶴ヶ島市商工会との連携のもと、起業を目指す人を支援することにより、地域の活性化および雇用の確保を図ります。

5万円

●(新)雨乞いのまち鶴ヶ島活性化事業



鶴ヶ島の地域資源である「脚折雨乞」を核とした市民主体のまちづくりや地域の活性化を目指すとともに、郷土意識の醸成および地域産業の振興を図ります。

335万円